



TOYO KITCHEN

洗髪洗面化粧台

àere

取扱説明書・据付工事説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。

取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

もくじ

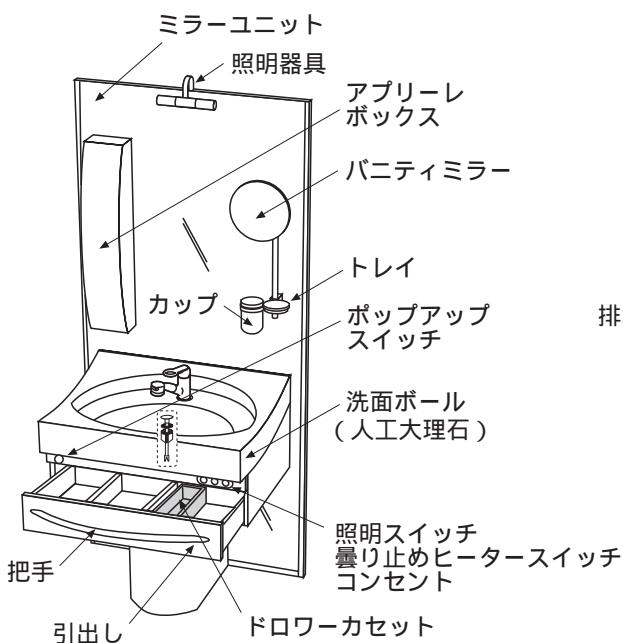
取扱説明書

安全上のご注意 / 照明器具用ハロゲン球の交換の仕方	1 ~ 2
ご使用に際して / お手入れ方法 / アフターサービスについて / ホルムアルデヒド発散区分	3 ~ 4

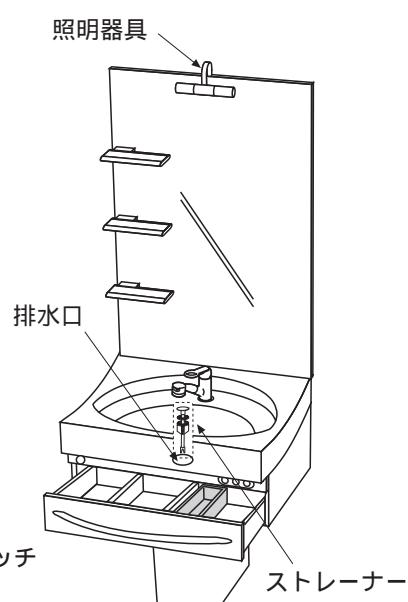
据付工事説明書

安全上のご注意 / 据付け前の確認	5 ~ 6
給・排水口の取り出し位置の確認 / ミラー取付金具の固定	7
【フルペディスタイル 90 タイプ】の取付け方法	8 ~ 13
【ハーフペディスタイル 75・ボックス 75 タイプ】の取付け方法	14 ~ 19
アセットモビルの組立て	20
製品図	21
据付け後の点検・清掃	22
ホルムアルデヒド発散区分	22 ~ 24

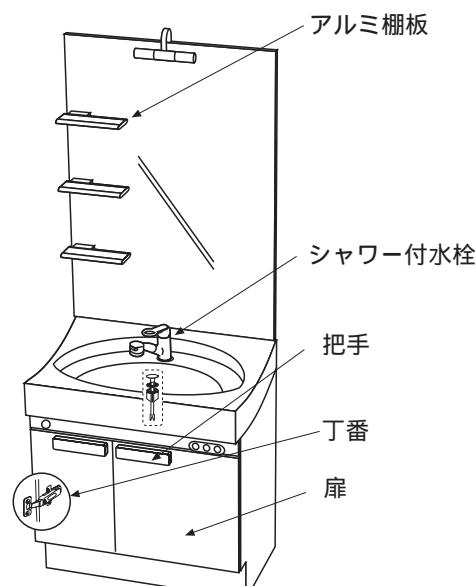
フルペディスタイル 90 タイプ



ハーフペディスタイル 75 タイプ



ボックス 75 タイプ



取扱説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

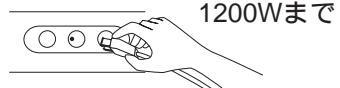
⚠ 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

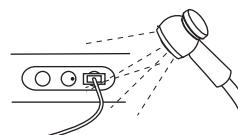
⚠ 警告

電気コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具を使わないでください。



発熱により、火災の原因になることがあります。

スイッチ・コンセントに水をかけないでください。



感電や火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

ぬれた手でコンセントにさわらないでください。



感電する恐れがあります。

電球は指定のワット数と形状のものをお使いください。



ワット数や形状が大きいと火災の原因になることがあります。

扉を大きく開けすぎないでください。



扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

電球に水をかけないでください。



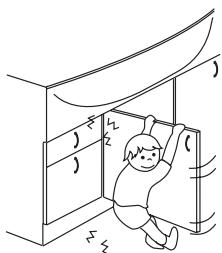
電球が割れ、ケガをする恐れがあります。

棚板、引出し、その他のパーツ類には、指定の荷重以上載せないでください。



載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

^{とって}扉や把手にぶら下がらないでください。



扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

組込まれる機器・水栓金具等については、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項をお守りください。



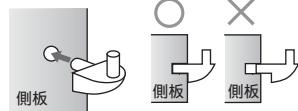
使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

電源プラグのほこりは定期的にとってください。



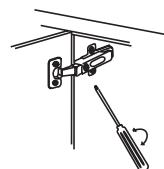
ほこりと湿気で絶縁不良となり、火災発生の恐れがあります。乾いた布で拭いてください。

棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。



棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のねじを締めなおしてください。



扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。

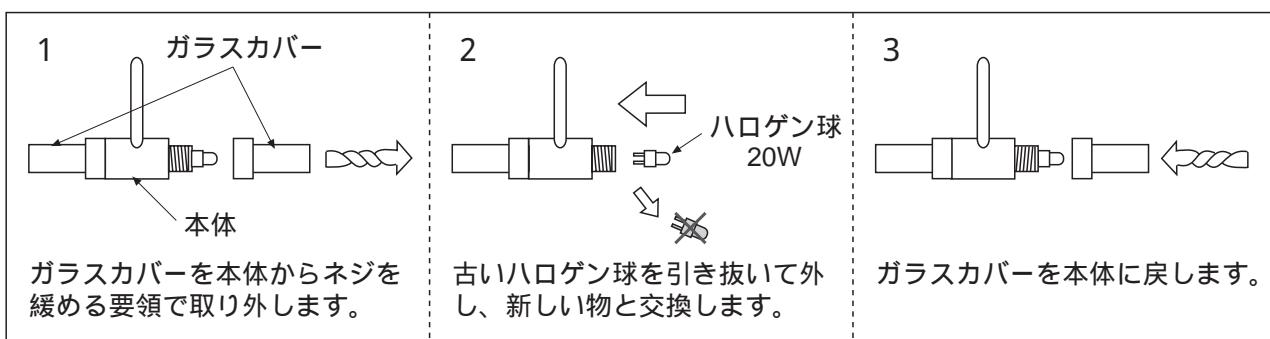
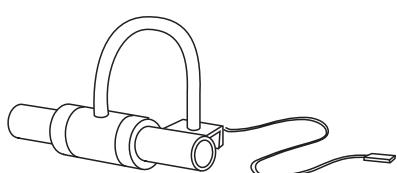


水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

照明器具用ハロゲン球の交換の仕方

注意

ハロゲン球の交換作業は、照明器具が十分に冷えてから行ってください。

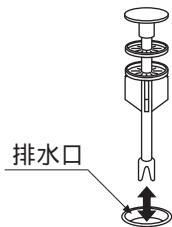


ハロゲン球には直接、触れないようにしてください。
ハロゲン球に油脂類が付着しますと球の寿命が短くなります。

ご使用に際して

排水口に、目詰まりするものを流さないでください。

ストレーナーを掃除する場合は、排水口からストレーナーを取り出し、ゴミ、毛髪等はこまめに取り除いてください。

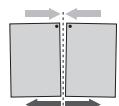


扉（丁番）の調整方法

調整は、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

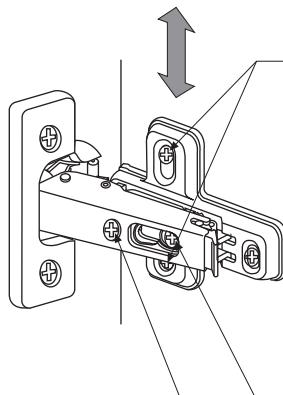
調整を行う場合

- ① 上下方向の調整
 - ② 左右方向の調整
 - ③ 前後方向の調整
- の順番で行ってください。



② 左右方向の調整

扉の目地が揃っていない場合は、このネジで調整します。



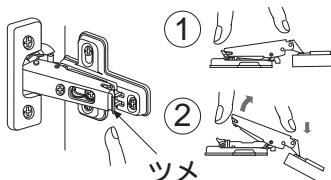
① 上下方向の調整

扉の上下が閉まらない場合は、座金のネジをゆるめ、上下の位置を定め固定します。

③ 前後方向の調整

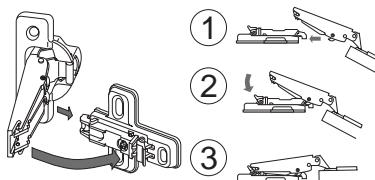
扉がしつくり閉まらない場合は、このネジで調整します。

丁番の外し方



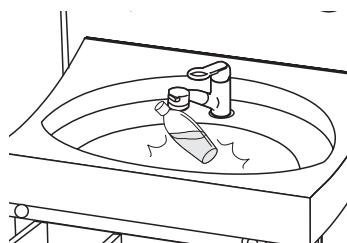
丁番を外す場合は全体後部にある「ツメ」を押してください。

丁番の取付け方



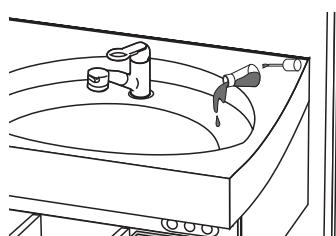
左図に従って丁番本体を座金に取付けます。

洗面ボールに、化粧品等硬いものを落とさないでください。



表面を傷つける恐れがありますので、ご注意ください。

毛染め液やパーマ液、マニキュア等の揮発性液体を、本体や扉につけないでください。



シミが残る場合があります。

ヘアドライヤーの熱風や暖房器具の熱を直接あてないでください。

変形・変色する恐れがあります。

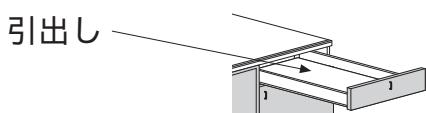
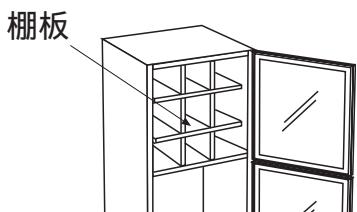
シンナー・ベンジン等の溶剤は、絶対に使用しないでください。

変質・変色する恐れがあります。

安心して使える重さのめやす（耐荷重）

収納品の重さのめやすを表示しました。
以下の重量を守って安全にお使いください。

5kg … 直径20cmのお皿15枚程度を目安にしてください。
各々の耐荷重は、均等に物を載せた場合の耐荷重です。



アセットモビル棚板	10 kg
アリーレボックス棚板	
アルミ棚板	1kg
トレイ	
アミ棚	5 kg

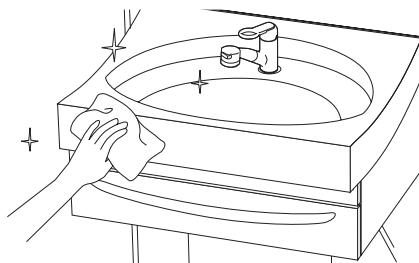
引出し（スチール製） 15 kg

お手入れ方法

洗面ボール・把手

通常のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。

汚れは中性洗剤をスポンジに付けて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。



木製塗装扉

通常のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。

汚れは、中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

メラミン系扉

通常のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。

汚れは中性洗剤をスポンジに付けて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

アフターサービスについて

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、工事店・販売店、又は弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容

- ・ご氏名
- ・ご住所
- ・電話番号
- ・お買い上げ日
- ・異常の内容
- ・品番

製品の保証期間はお買い上げ後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

ホルムアルデヒド発散区分

内装仕上げ部分及び下地部分とも F

ただし、フルペディスタイル90（マットグリーン、マットオレンジ、ディープブラウン）

ハーフペディスタイル75（ディープブラウン）ボックス75（ディープブラウン）の場合

内装仕上げ部分 F (下地部分 F)

表示ルール 「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による

据付工事説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。
---	---------------------------------------

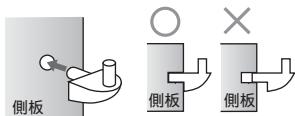
据付工事完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

この「取扱説明書・据付工事説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

 警告	
ミラー、洗面化粧台およびその他の洗面パーツの据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。	電気工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
	
落下して、ケガをする恐れがあります。	火災、感電、水漏れの原因になることがあります。

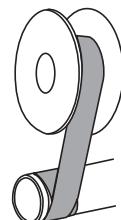
⚠ 注意

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう、根元まで確実に差し込んでください。



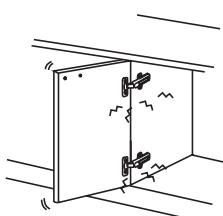
棚板が外れ、収納物が落下してケガをする恐れがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。



水が漏れたり湿気が上がり、床等が腐る恐れがあります。

工事完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。



使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

組込まれる電気機器・水栓等については、それぞれの工事説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく据付けてください。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

据付け前の確認

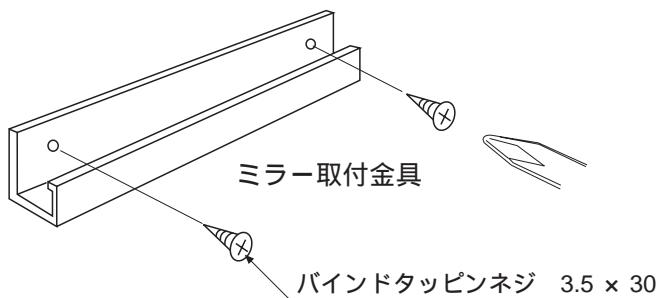
- 1 注文した製品が納入されているか、確認してください。
- 2 配管・配線・補強棟の確認
施工図および指示通りに、給水・給湯管、排水管および電気配線等が、施工されているか確認してください。
壁面の取付位置に、取付棟があることを確認してください。
壁の直角・垂直・床の水平レベルを確認してください。
- 3 直射日光の当たる場所や、火気の近くへの据付けはお避けください。
- 4 浴室等湿気の多い場所への据付けは、お避けください。
- 5 ご使用になる地域の各水道局指定工事店に施工を依頼してください。
- 6 必ず止水栓（市販品）を取付けて配管してください。
- 7 寒冷地でご使用になる場合は、工事店によくご相談ください。

給・排水口の取り出し位置の確認

1. 給・排水口が指定の位置に、設置されているかどうかの確認をしてください。
2. 給・排水口の取り出し位置は巻末の製品図を参照してください。

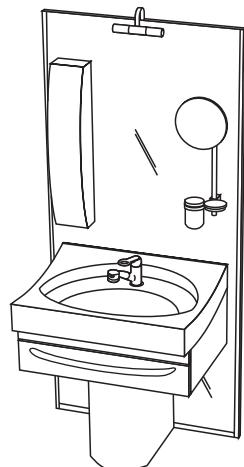
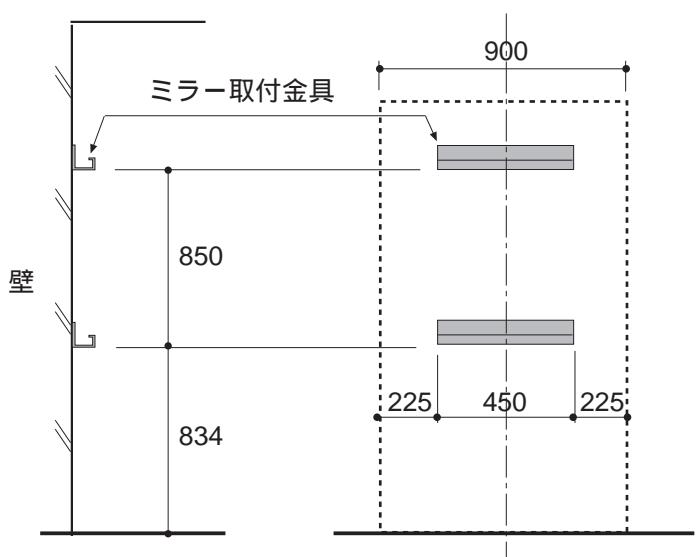
ミラー取付金具の固定

ミラー取付金具を指定の位置に取付けてください。

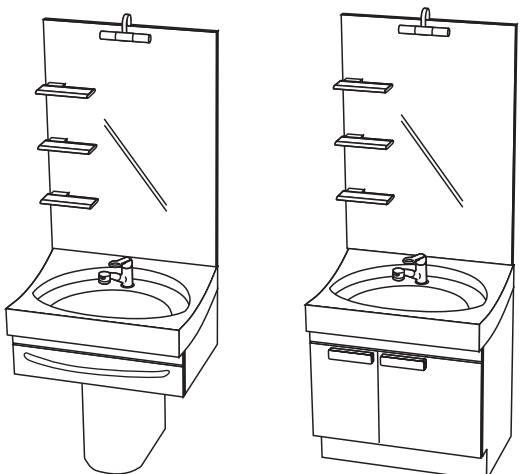
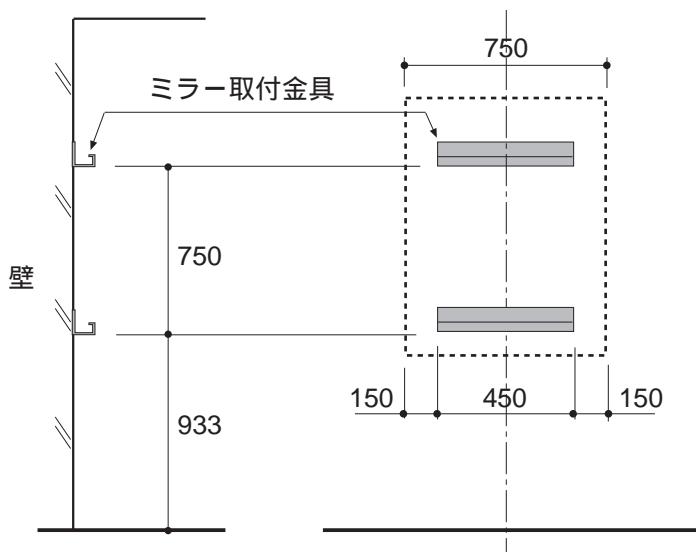


据付工事について

・フルペディスタイル 90 取付金具位置



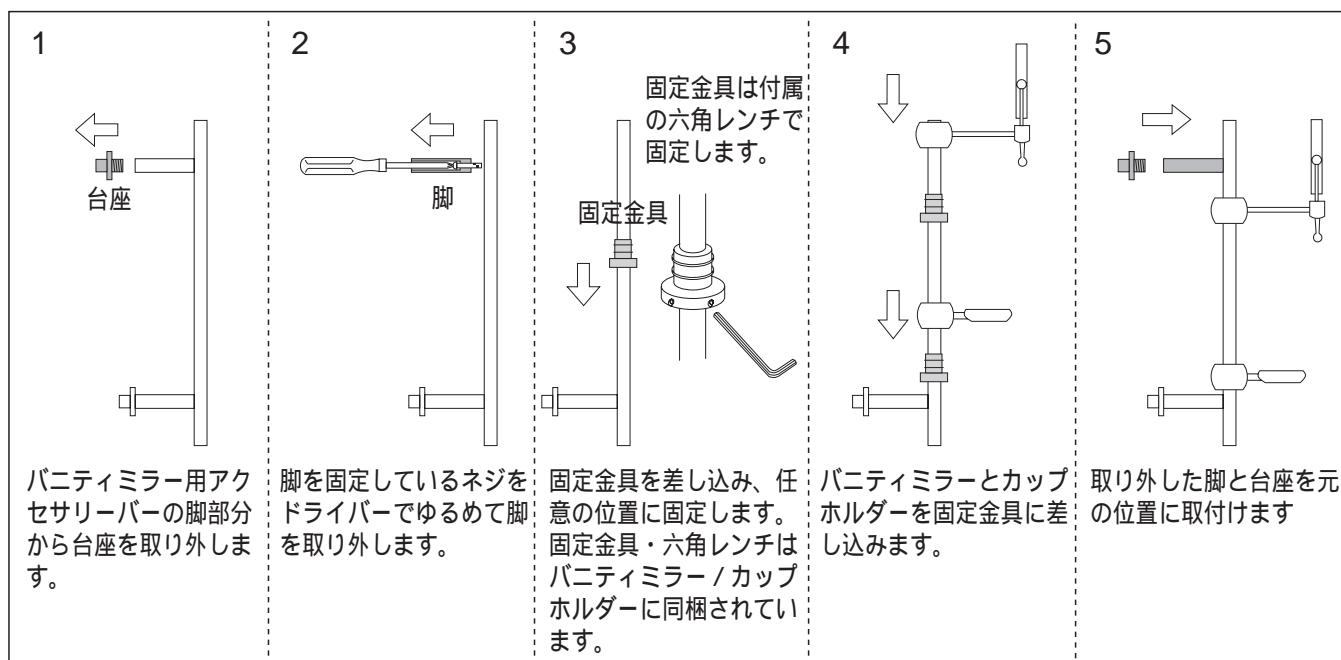
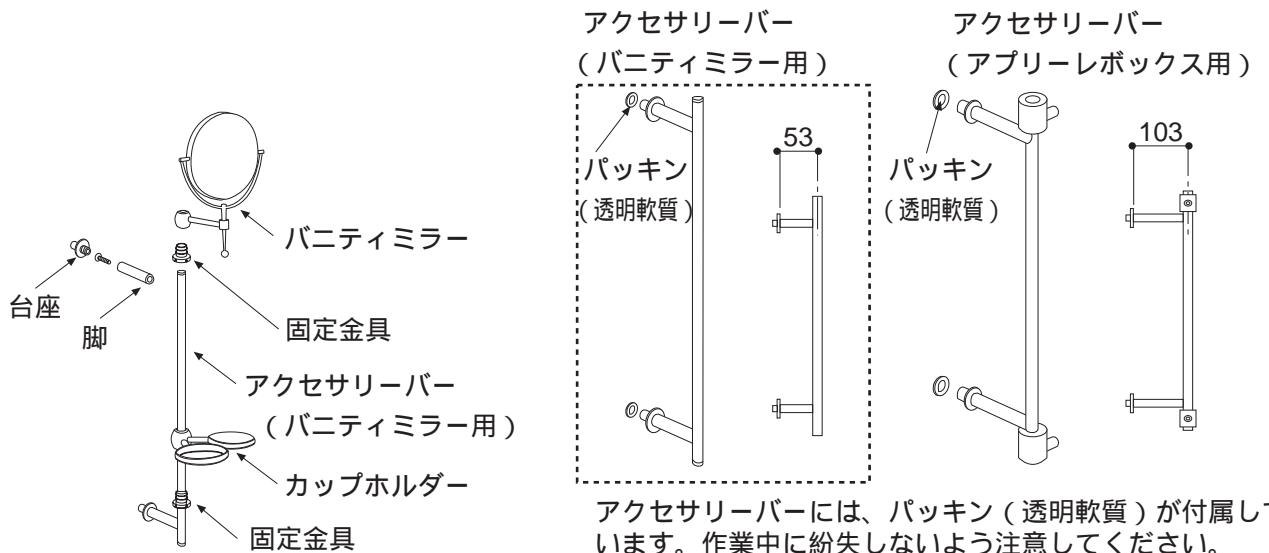
・ハーフペディスタイル 75 / ボックス 75 取付金具位置



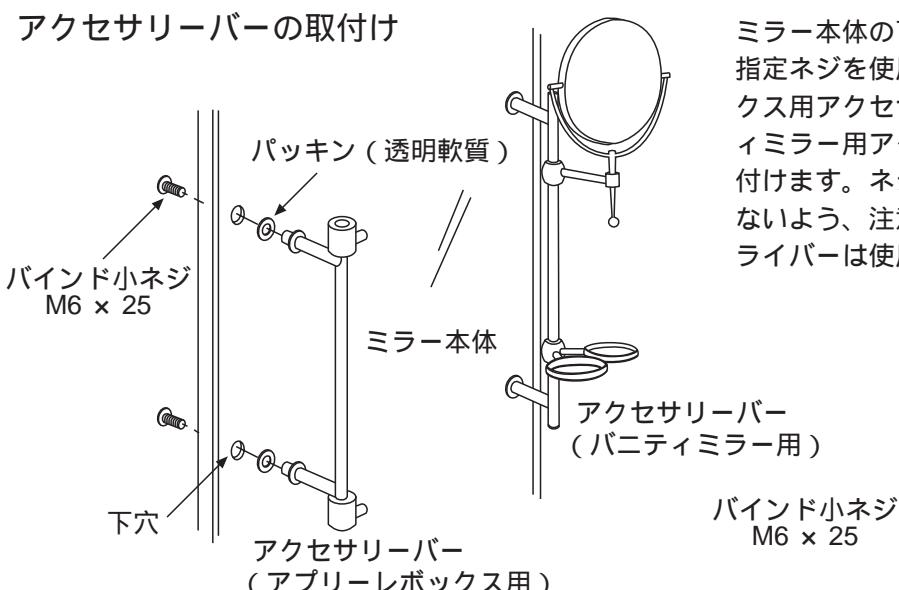
【フルペディスタイル90タイプ】の取付け方法

バニティミラー用アクセサリーバーの組立て(ミラーW900)

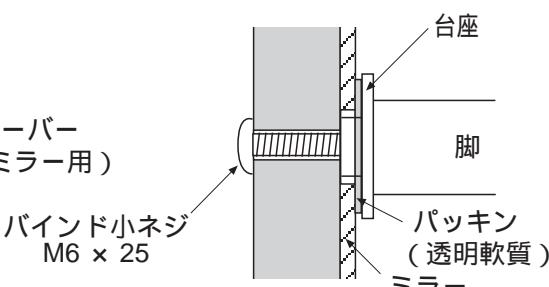
下図1~5に従ってバニティミラー用アクセサリーバーにカップホルダーと、バニティミラーを取り付けます。



アクセサリーバーの取付け



ミラー本体の下穴に合わせ、アクセサリーバーを指定ネジを使用して取付けます。アクリーレボックス用アクセサリーバーは向かって左側、バニティミラー用アクセサリーバーは向かって右側に取付けます。ネジを締め込む時はミラーを破損させないよう、注意して行ってください。（電気式ドライバーは使用しないでください。）

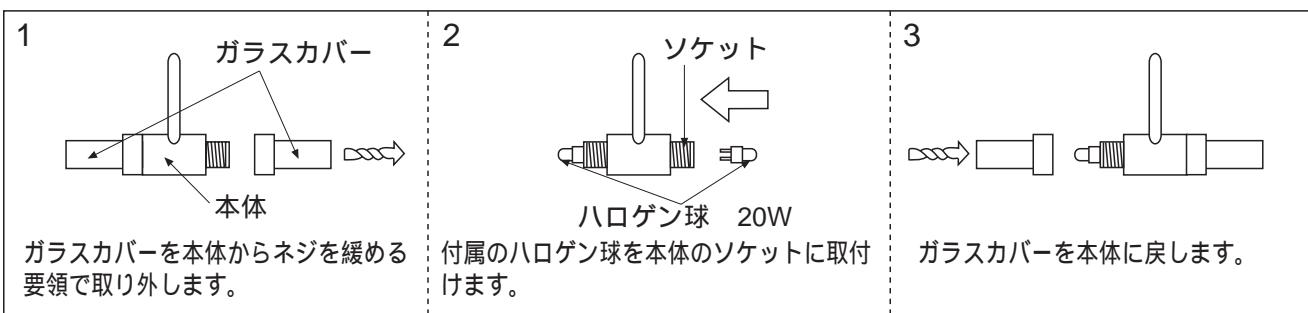
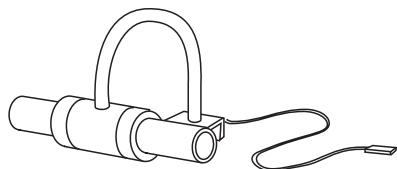


照明器具の取付け

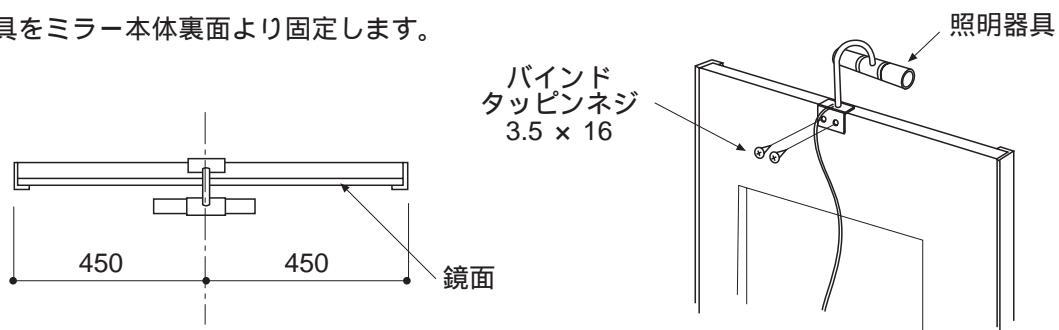
- ・照明器具に付属のハロゲン球を取付けます。

ハロゲン球には、直接触れないようにしてください。

ハロゲン球に油脂類が付着しますと球の寿命が短くなります。



照明器具をミラー本体裏面より固定します。

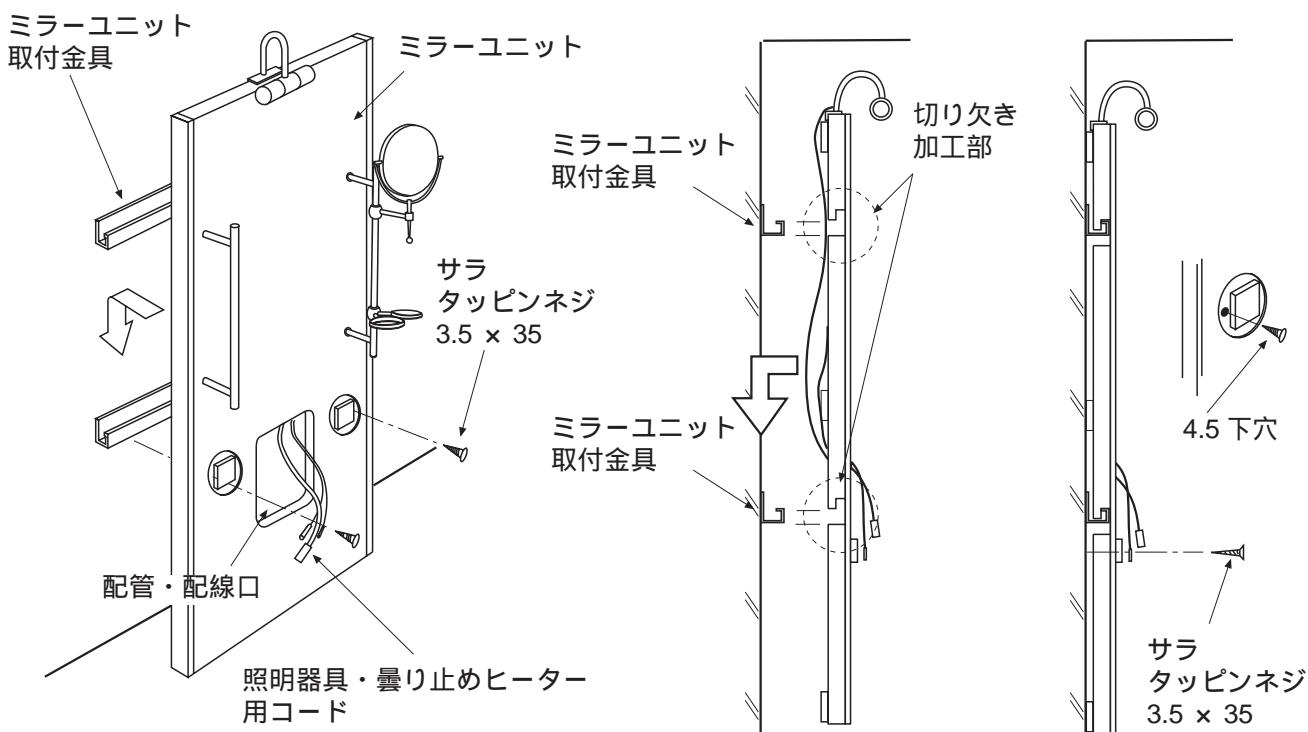


ミラーユニットの壁面への取付け

壁面に取付けたミラーユニット取付金具を使用してミラーユニットを壁面に固定します。

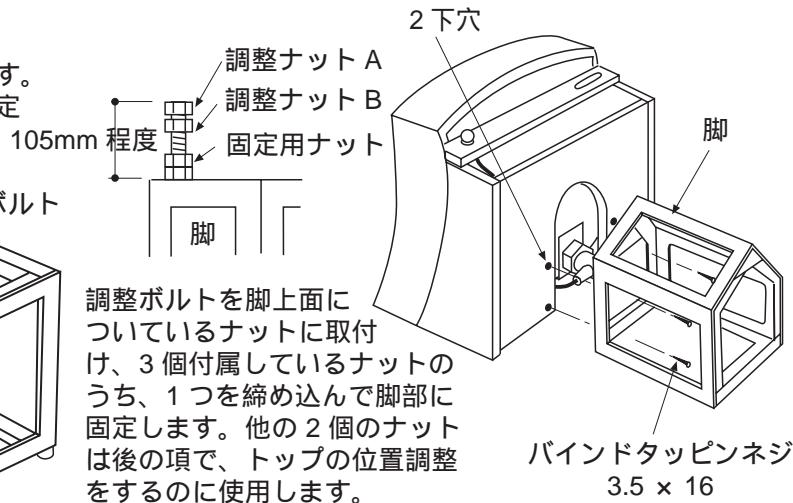
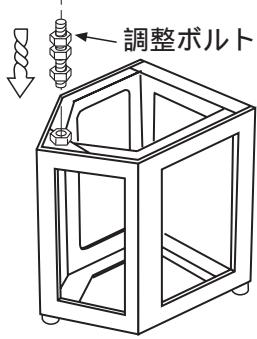
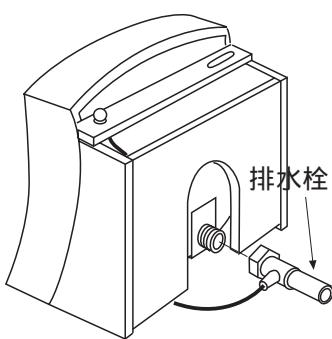
ミラーユニット取付金具を本体裏側の切り込み部分に合わせ、ミラーユニットを上から落し込むように取付けます。この時にミラーユニットの配管・配線口から、照明器具と曇り止めヒーターのコードを取り出してください。

ミラー取付金具への取付けが完了したら、ミラーユニットを付属のネジを使用して壁面へ固定します。



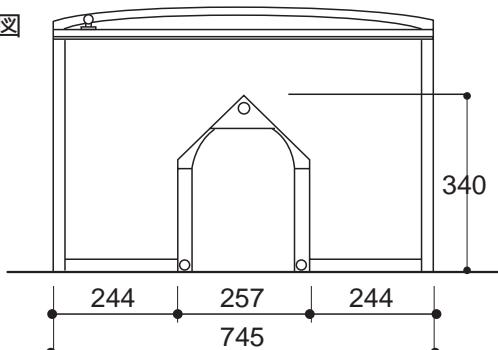
洗面化粧台の組立て

- ・洗面化粧台本体に排水栓と脚を取付けます。
- ・脚に調整ボルトを取り付けてから本体に固定します。

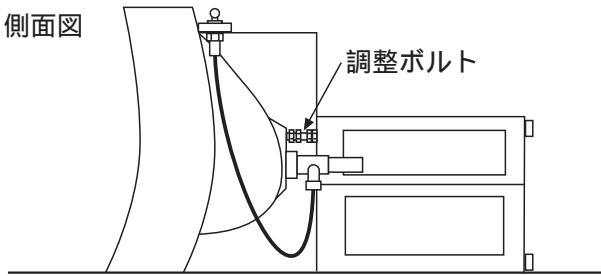


下図の位置に脚を取付けてください。

下面図



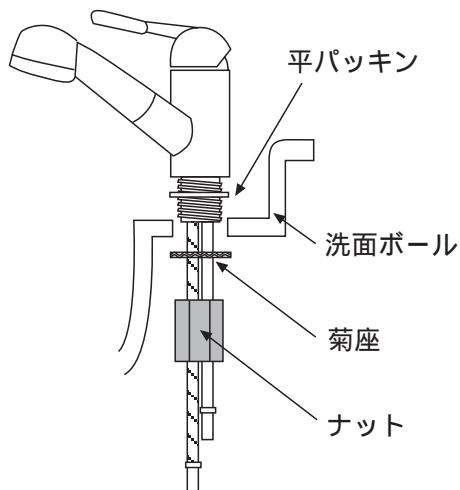
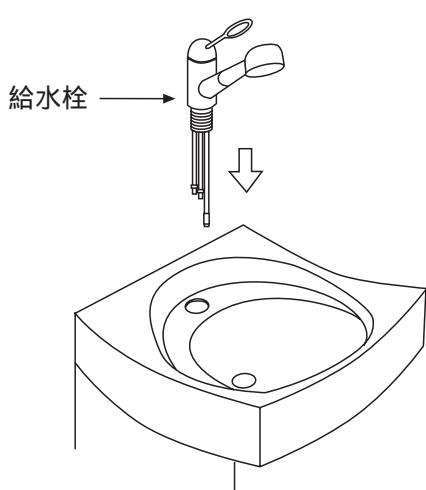
側面図



洗面化粧台本体と脚の後面が一直線になるように
脚を本体の下穴に合わせ取付けてください。

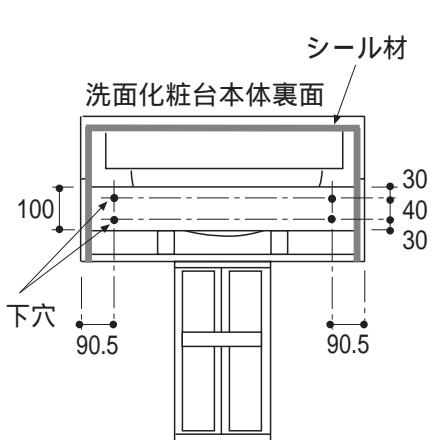
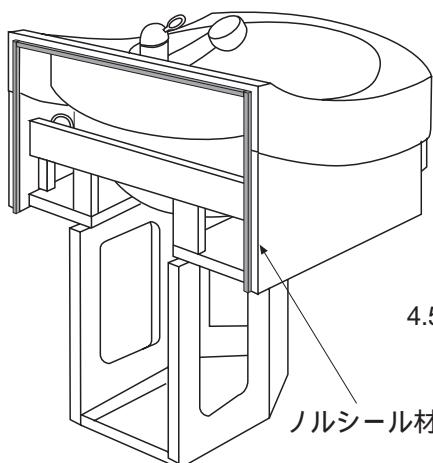
水栓の取付け

水栓・シャワーヘッドの取付けは、水栓付属の説明書に従い行ってください。



水栓を洗面ボールの穴に
固定してください。水栓
には【後側】のマークが
記入されていますのでそ
れに従い、固定してく
ださい。

シール材の貼り付けと下穴の加工



・洗面化粧台本体が鏡と接触する
木口部分に付属のシール材を貼
り付けます。
シール材は洗面化粧台本体の後
面木口に貼り付けてください。

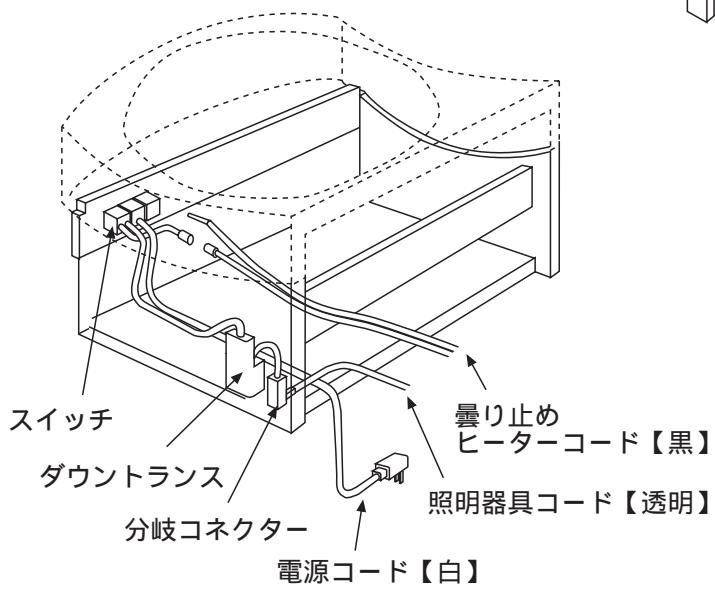
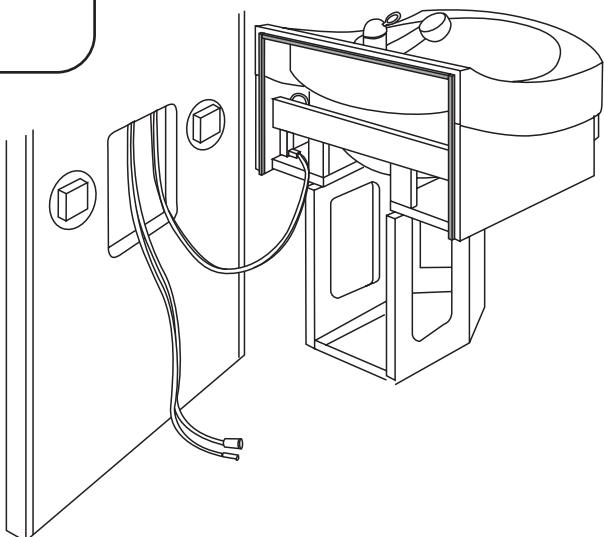


電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。

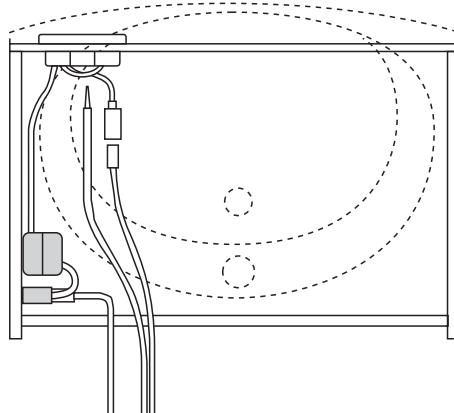


火災、感電の原因になることがあります。

ミラーの配線口から取り出しておいた、照明器具と曇り止めヒーターのコードを洗面化粧台本体の所定の箇所に接続します。

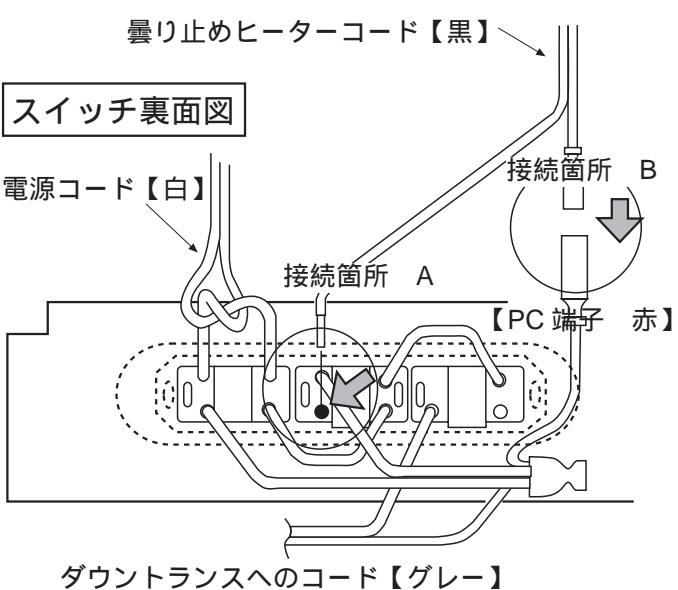
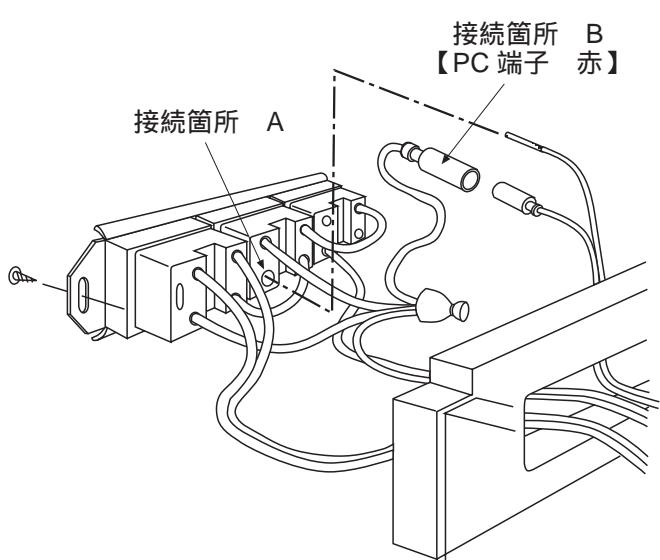


- ・ 照明器具の配線【透明】は本体後ろ側の分岐コネクターに差し込みます。
- ・ 曇り止めヒーターのコードは本体前面のスイッチに接続します。



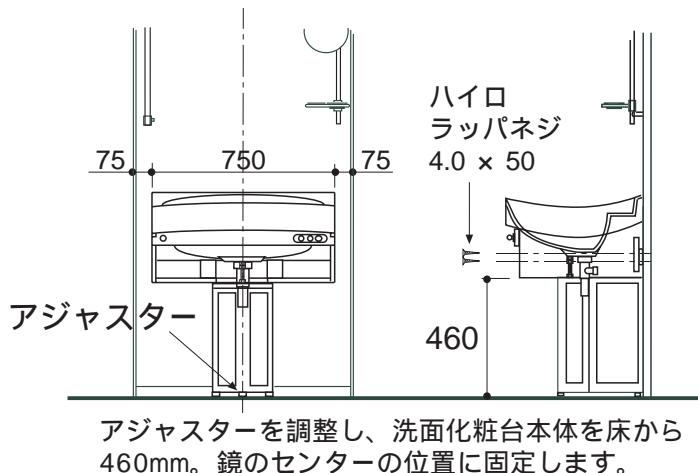
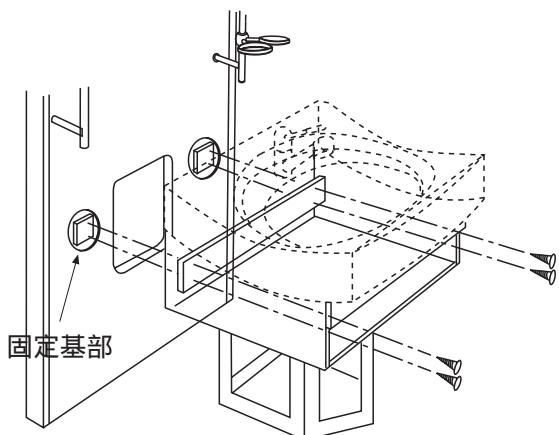
・ 曇り止めヒーターの配線接続

曇り止めヒーターのコードが接続しにくい場合には、スイッチを本体より外し、結線をしてください。

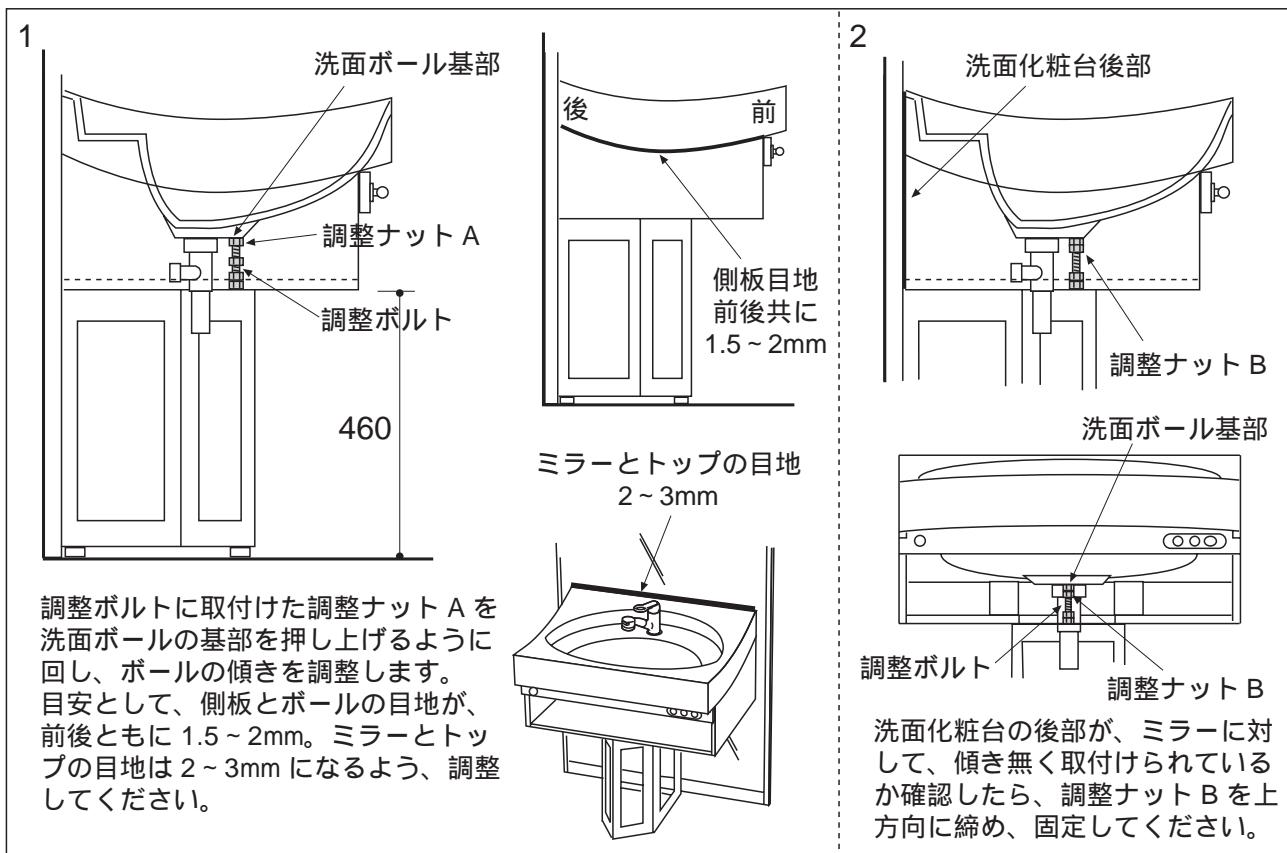


洗面化粧台の取付け

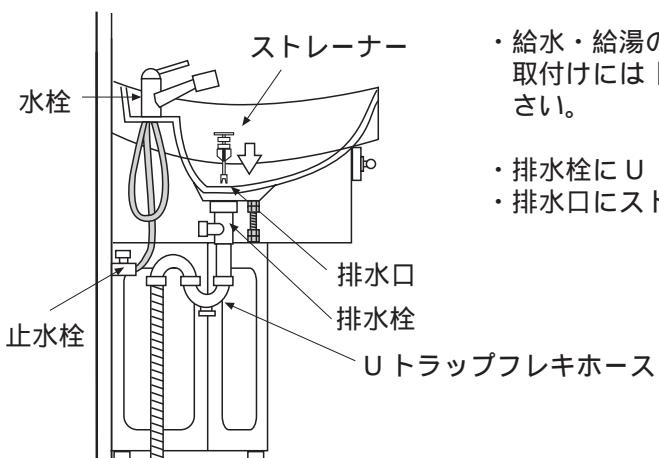
- 脚のアジャスターを調整して、洗面化粧台が水平になるようにします。
- 壁面に取付けたミラーユニットに洗面化粧台を取付けます。ミラーユニットの固定基に指定のネジを使用して取付けてください。



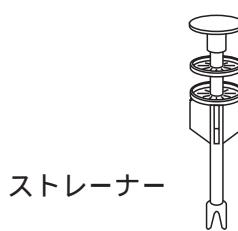
トップの調整方法



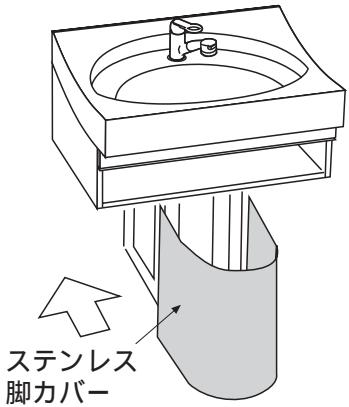
給水・給湯・排水の接続



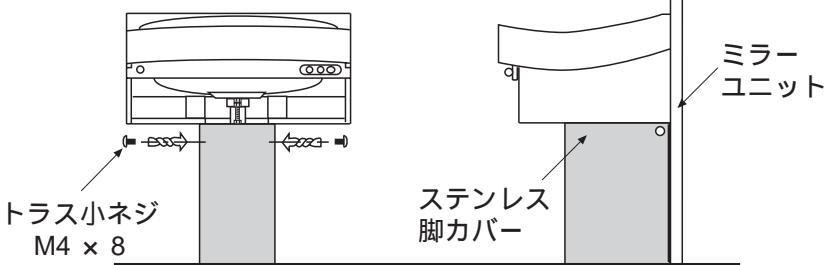
- 給水・給湯の接続は、水栓付属の説明書に従ってください。取付けには【止水栓】が必要になります。別途にてご用意ください。
- 排水栓に U トラップフレキホースを取付けます。
- 排水口にストレーナーを取付けます。



脚カバーの取付け

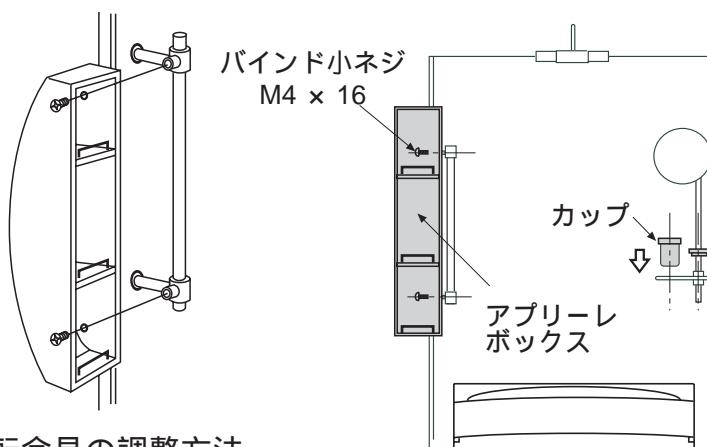


ステンレス脚カバーを取付けます。脚カバーをミラーに当たるまで奥に押し込み指定のネジで脚に固定します。固定した時、ミラーとの間に大きな隙間ができる時は、脚と本体の取付位置をもう一度確認してください。

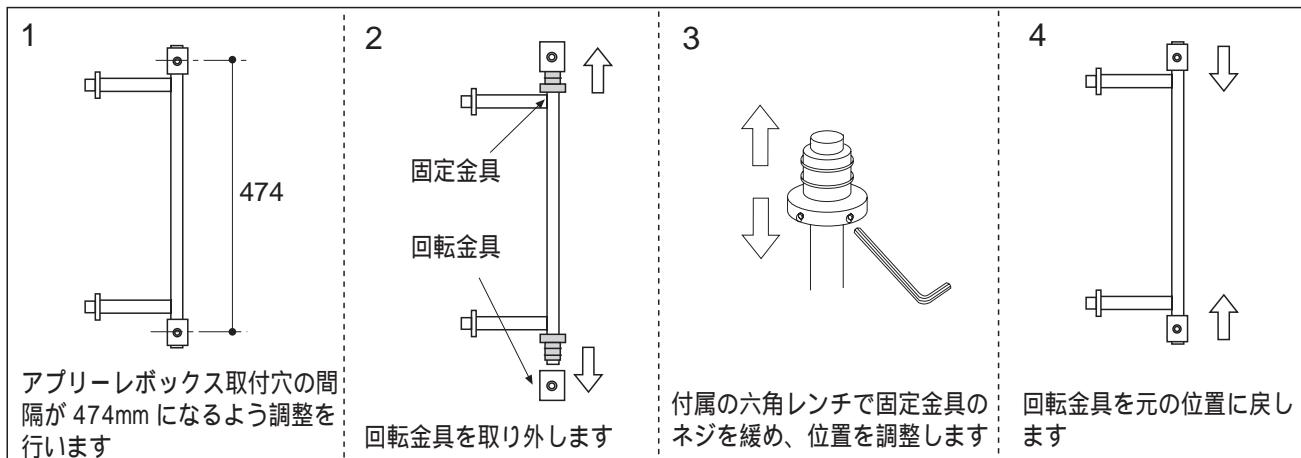


アピーレボックスとカップ・トレイの取付け

アクセサリーバーにアピーレボックスとカップ・トレイを取り付けます。

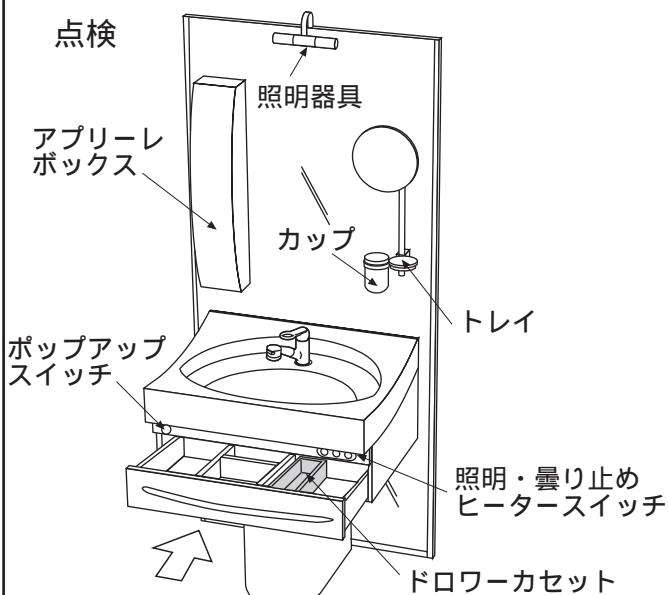


回転金具の調整方法



アピーレボックスが取付けにくい場合は、アクセサリーバーの回転金具の間隔を、474mmに調整してください。

点検



引出しを本体内に納めてください。この時配線・配管が引出しに干渉していないかどうかの確認をしてください。

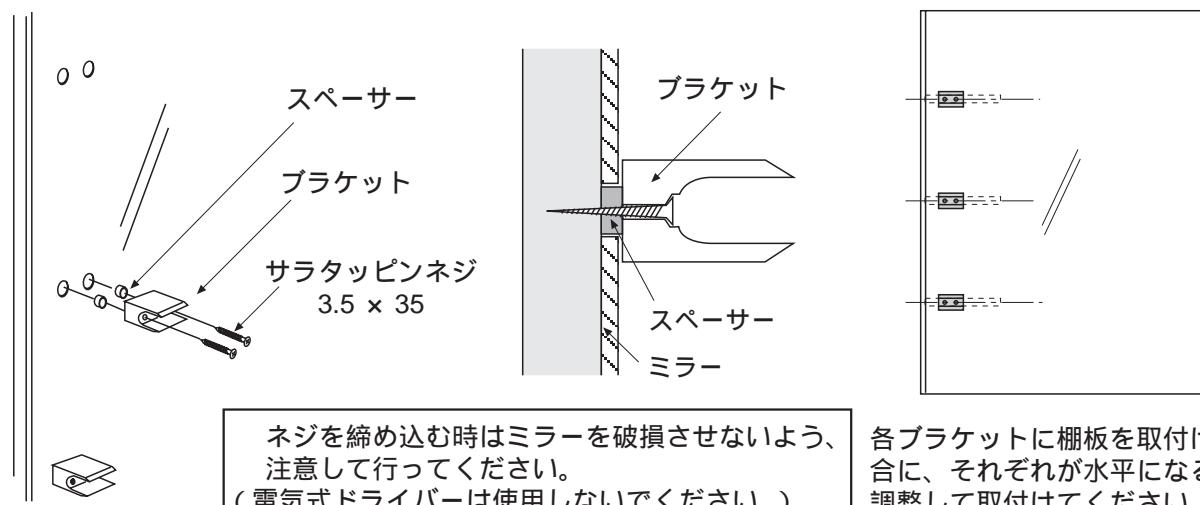
取付け後の確認として、下記の事項を検査してください。

- ・ 照明器具が正しく点灯するか。
- ・ 曇り止めヒーターが作動するか。
- ・ 水栓から表示通りに湯・水が吐水されるかどうか。水漏れは無いか。
- ・ ポップアップは正常に作動するか。
- ・ アピーレボックスはスムーズに回転するか。
- ・ 引出し内にドロワーカセットが装備されているか。

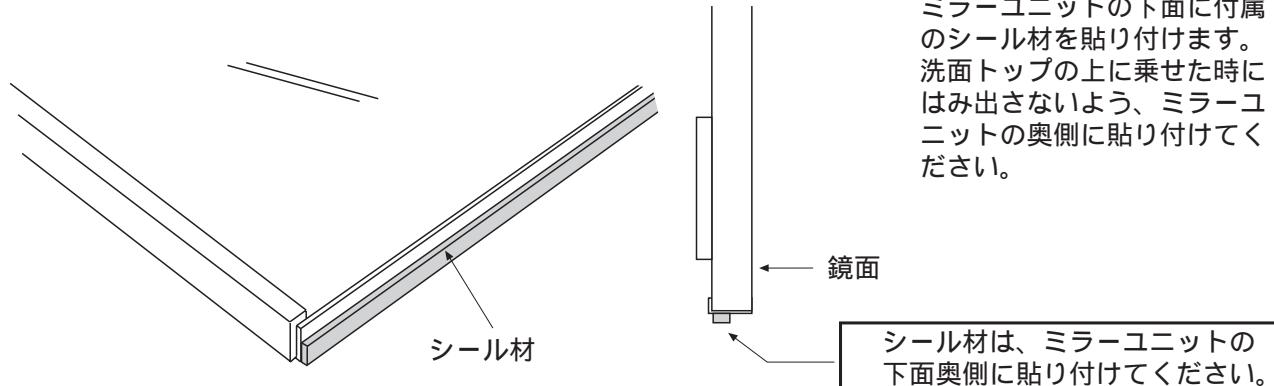
【ハーフペディスタイル75・ボックス75タイプ】の取付け方法

プラケットの取付け（ミラーユニットW750）

ミラーユニットの下穴に合わせプラケットを取付けます。プラケットとミラーユニットの間にはスペーサーを入れてください。また、アルミ棚板を取付けた時に、水平になるよう調整してください。



シール材の取付け



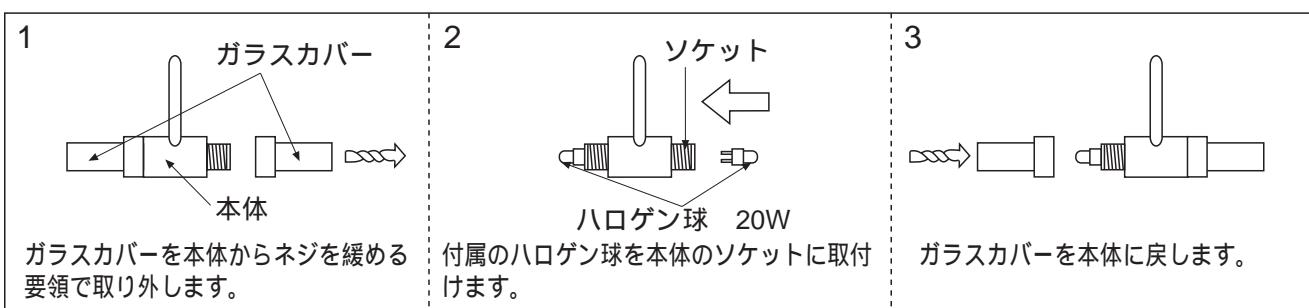
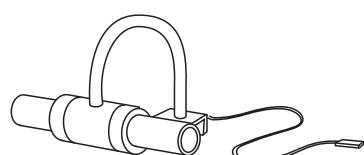
照明器具の取付け

- 照明器具に付属のハロゲン球を取付けます。

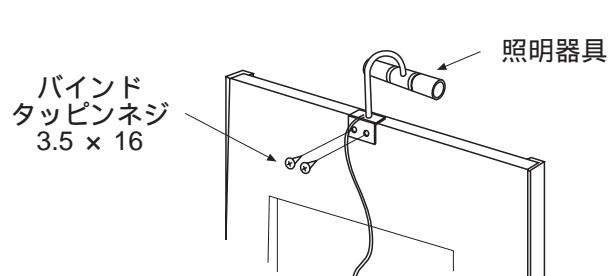
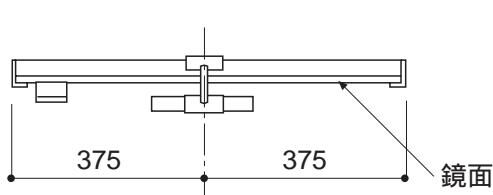
ハロゲン球には、直接触れないようにしてください。
ハロゲン球に油脂類が付着しますと球の寿命が短くなります。

ミラーユニットの下面に付属のシール材を貼り付けます。
洗面トップの上に乗せた時にはみ出さないよう、ミラーユニットの奥側に貼り付けてください。

シール材は、ミラーユニットの下面奥側に貼り付けてください。



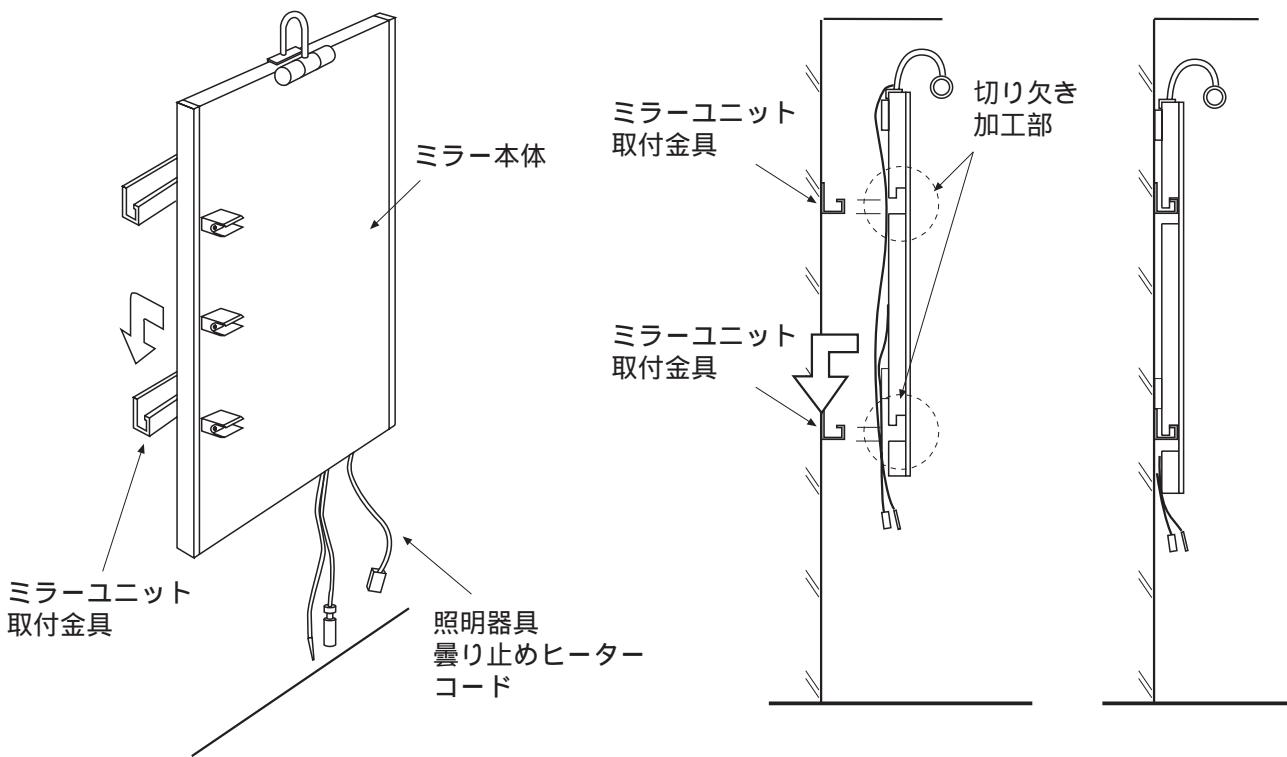
- 照明器具をミラー本体裏面より固定します。



ミラーユニットの壁面への取付け

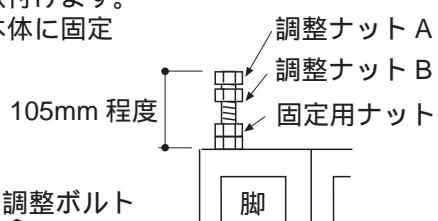
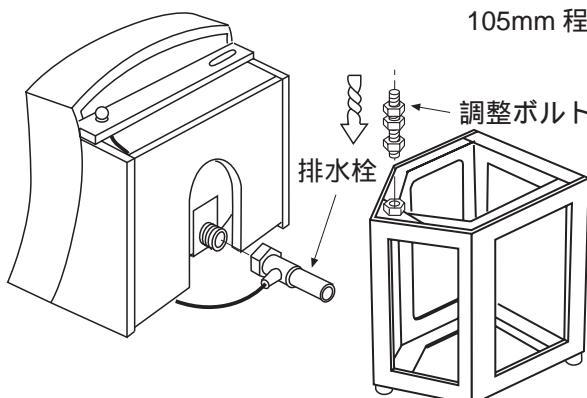
壁面に取付けたミラーユニット取付金具を使用してミラーユニットを壁面に固定します。

ミラーユニット取付金具を本体裏側の切り込み部分に合わせ、ミラーユニットを上から落し込むように取付けます。この時にミラーユニットの下方より照明器具と曇り止めヒーターのコードを取り出しておいてください。

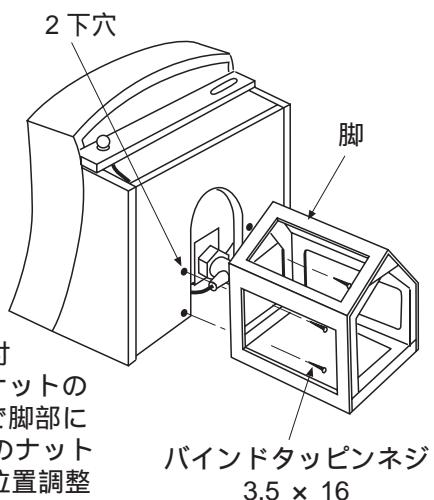


洗面化粧台の組立て（ハーフペディスタイルタイプの場合）

- ・洗面化粧台本体に排水栓と脚を取付けます。
- ・脚に調整ボルトを取付けてから本体に固定します。

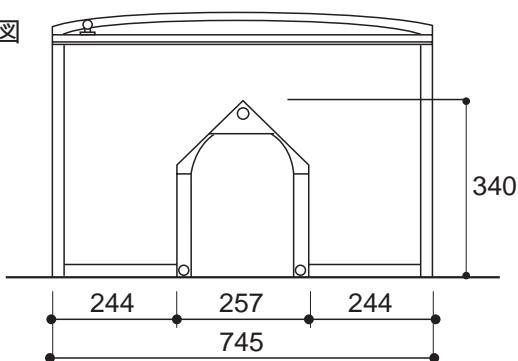


調整ボルトを脚上面についているナットに取付け、3個付属しているナットのうち、1つを締め込んで脚部に固定します。他の2個のナットは後の項で、トップの位置調整をするのに使用します。

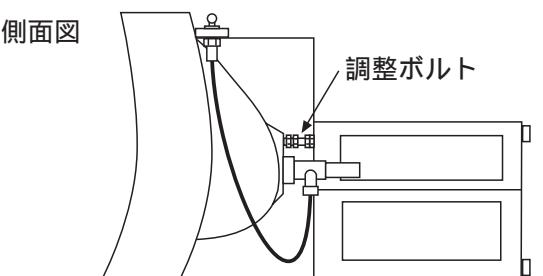


下図の位置に脚を取付けてください。

下面図



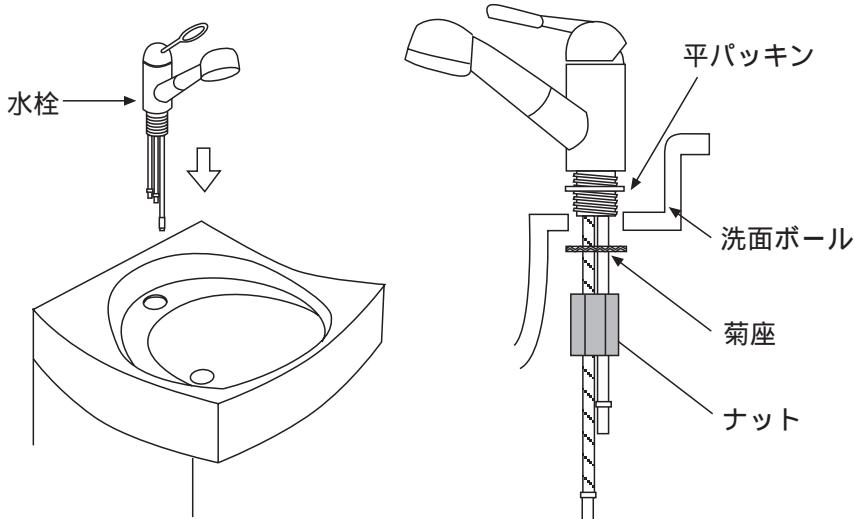
側面図



洗面化粧台本体と脚の後面が一直線になるように脚を本体の下穴に合わせ取付けてください。

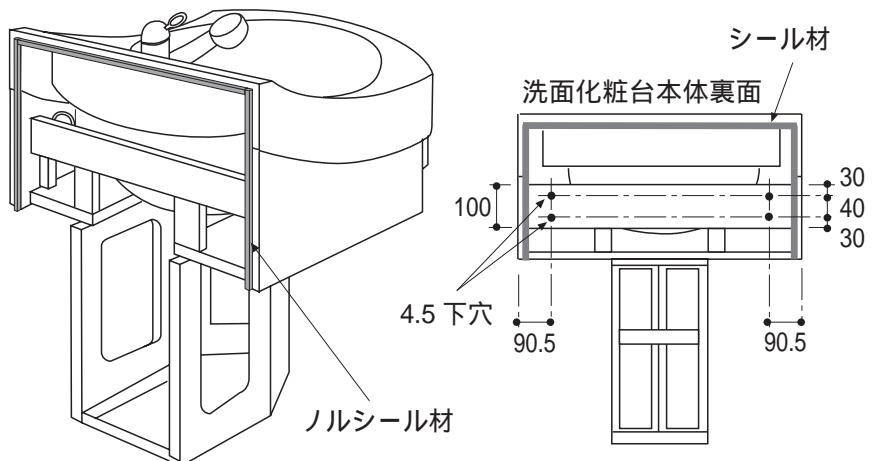
水栓の取付け

水栓・シャワーヘッドの取付けは、水栓付属の説明書に従い行ってください。



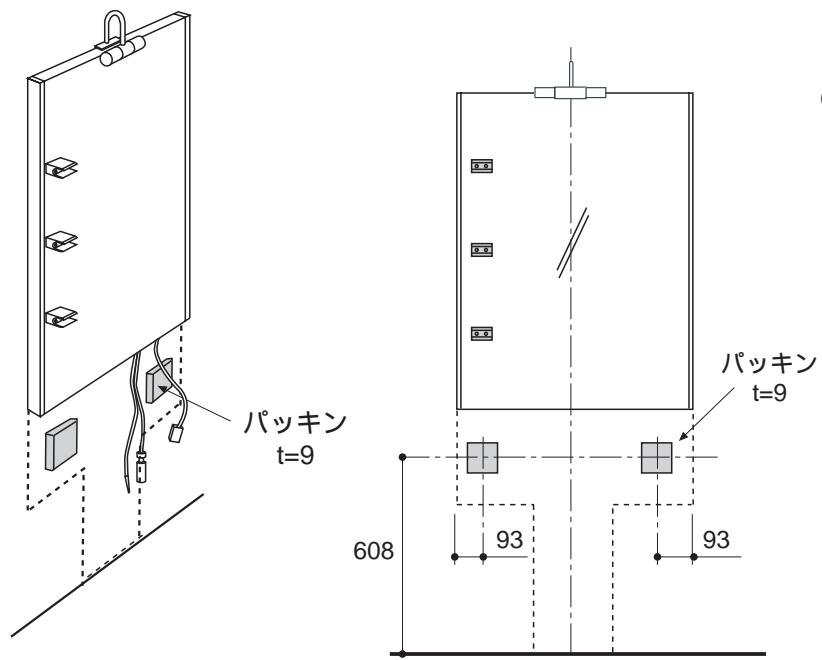
水栓を洗面ボールの穴に固定してください。水栓には【後側】のマークが記入されていますのでそれに従い、固定してください。

シール材の貼り付けと下穴の加工



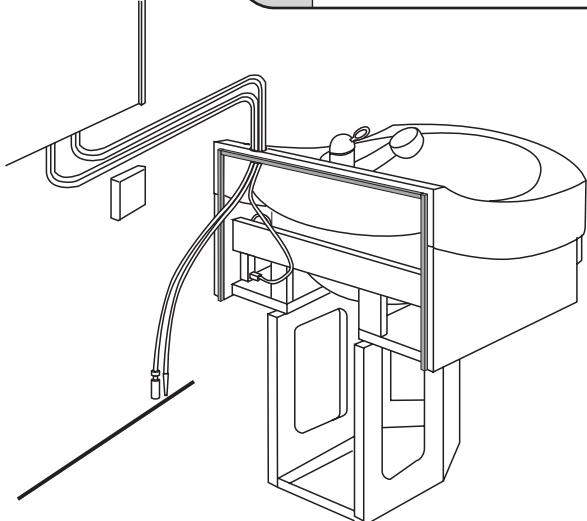
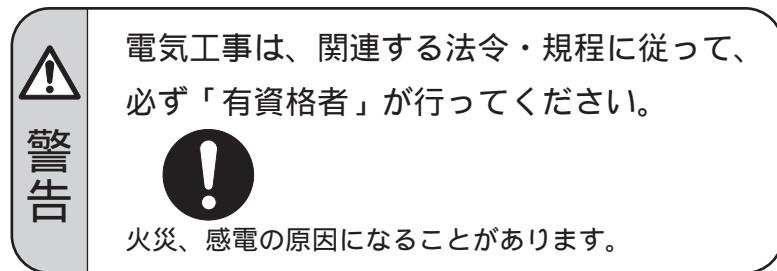
洗面化粧台本体が壁面と接触する木口部分に付属のシール材を貼り付けます。
シール材は洗面化粧台本体の後面木口に貼り付けてください。

洗面化粧台の取付け準備（ハーフペディスタイルタイプの場合）

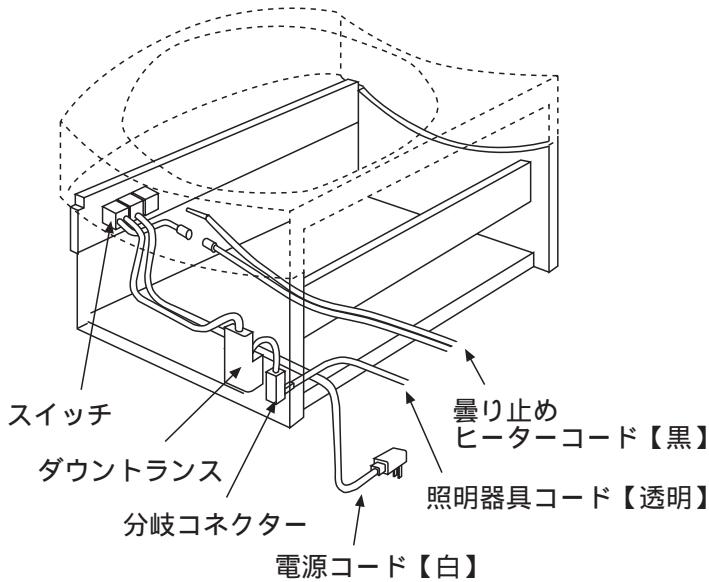
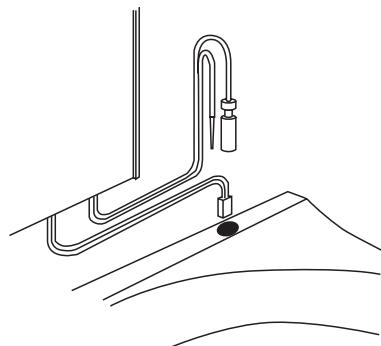


壁面に厚さ 9mm のパッキン (5~10cm 角) を、所定の位置に取付けます。

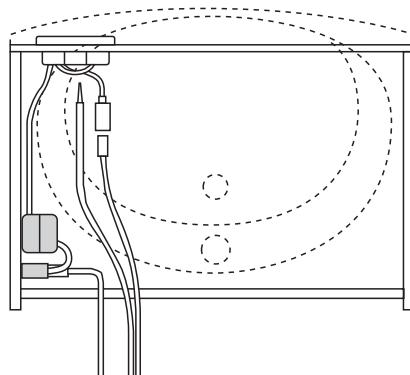
ボックス 75 タイプの場合は
パッキンは必要ありません。



- 洗面ボールの後ろ側に開いている穴に、配線コード【照明器具・曇り止めヒーター】を通します。
- 配線はボックスタイプも同様に行います。

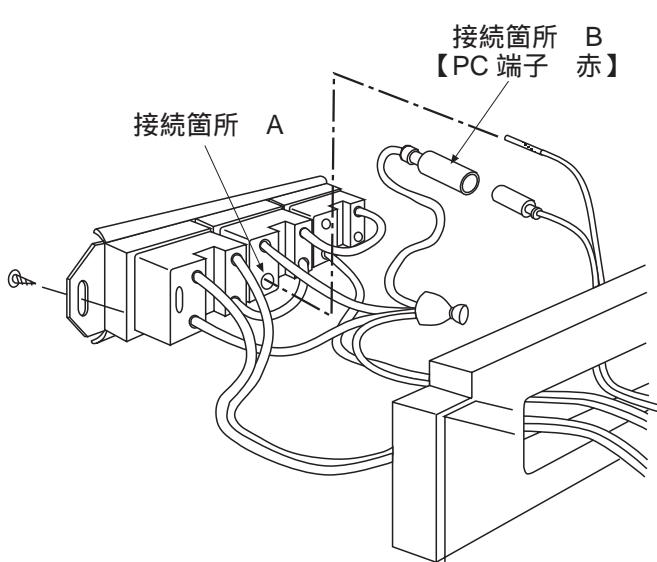


- 照明器具の配線【透明】は本体後ろ側の分岐コネクターに差し込みます。
- 曇り止めヒーターのコードは本体前面のスイッチに接続します。

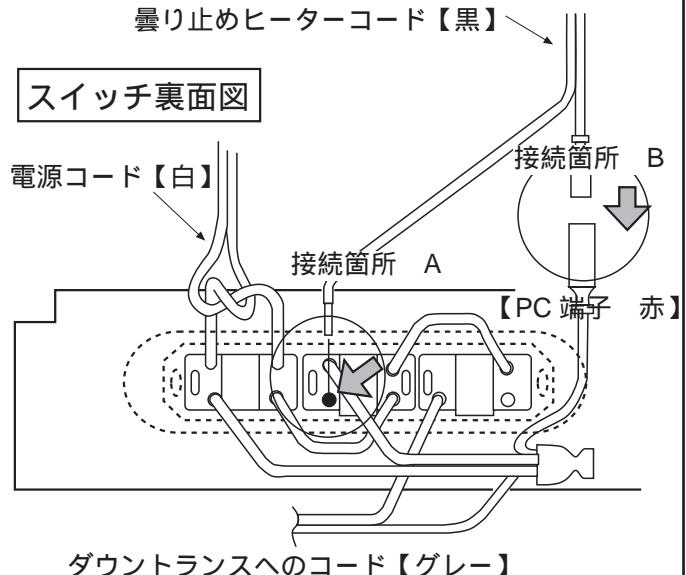


・曇り止めヒーターの配線接続

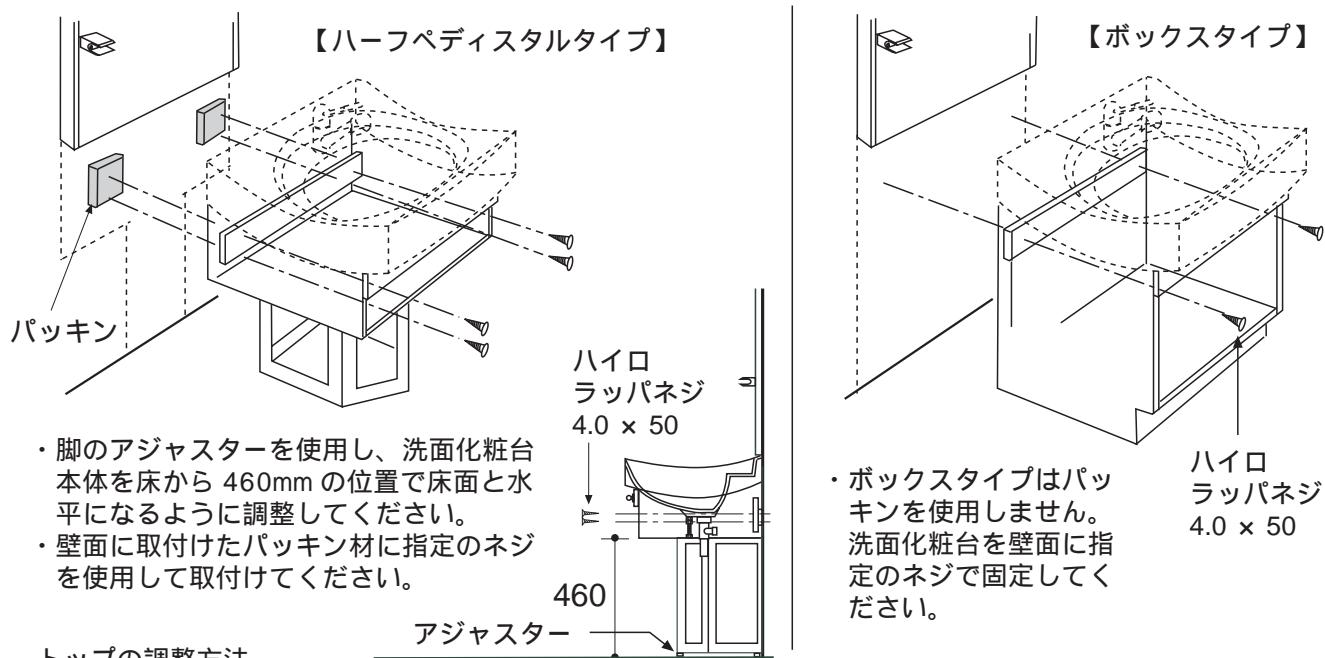
曇り止めヒーターのコードが接続しにくい場合には、スイッチを本体より外し、結線をしてください。



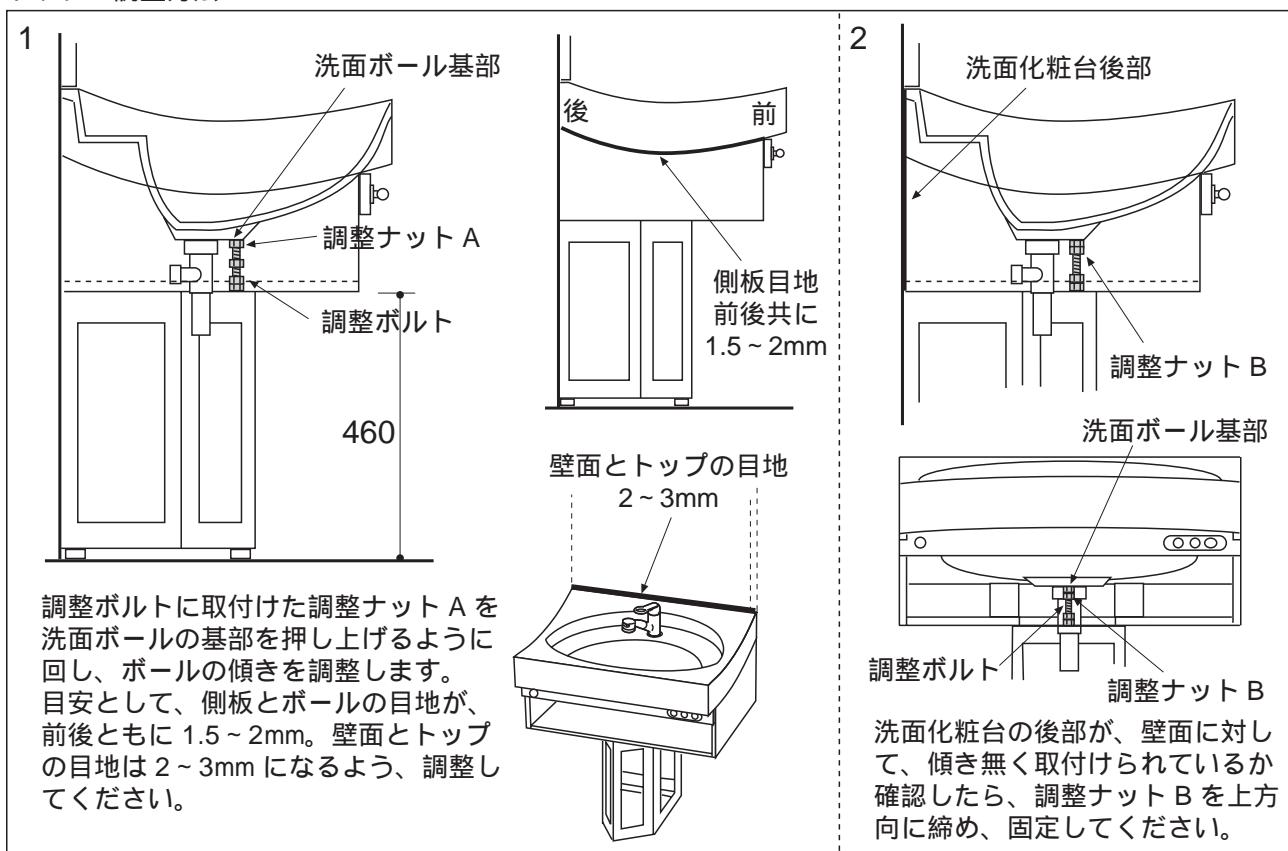
スイッチ裏面図



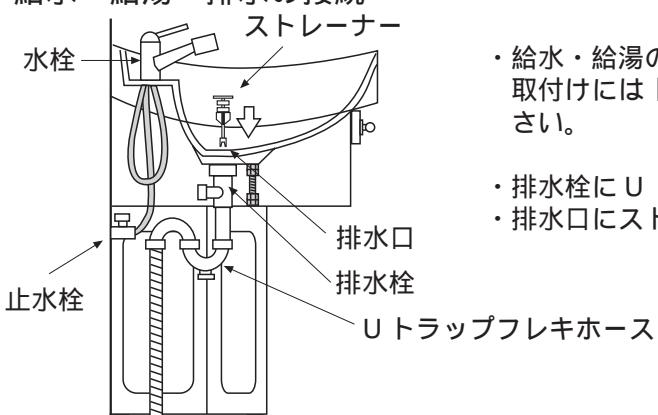
洗面化粧台の取付け



トップの調整方法



給水・給湯・排水の接続

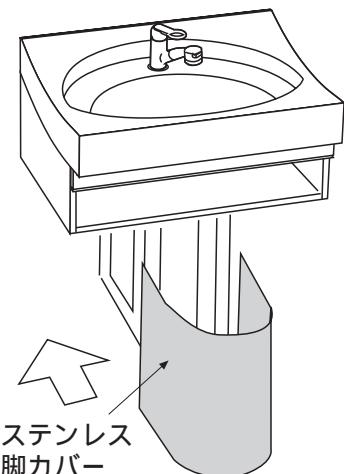


・給水・給湯の接続は、水栓付属の説明書に従ってください。取付けには【止水栓】が必要になります。別途にてご用意ください。

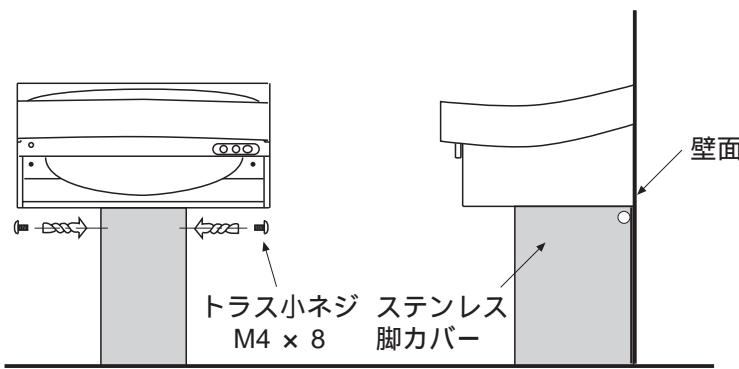
- ・排水栓にUトラップフレキホースを取付けます。
- ・排水口にストレーナーを取付けます。



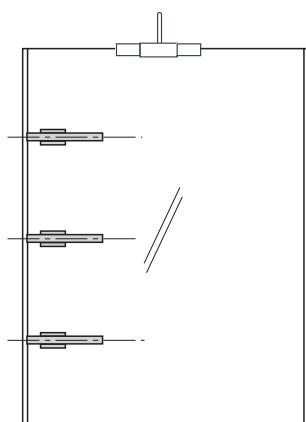
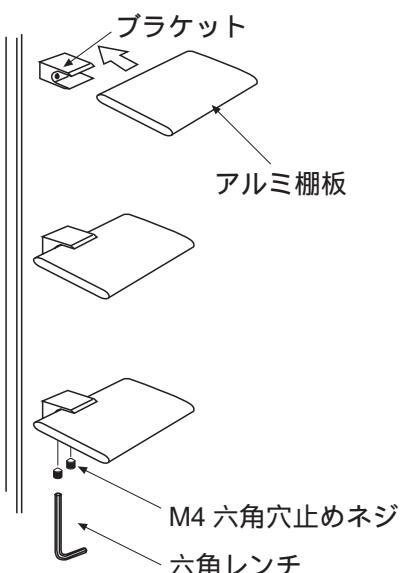
脚カバーの取付け（ハーフペディスタイルタイプの場合）



ステンレス脚カバーを取付けます。脚カバーを壁面に当たるまで奥に押し込み指定のネジで脚に固定します。固定した時、ミラーとの間に大きな隙間ができる時は、脚と洗面化粧台本体の取付位置を一度確認してください。

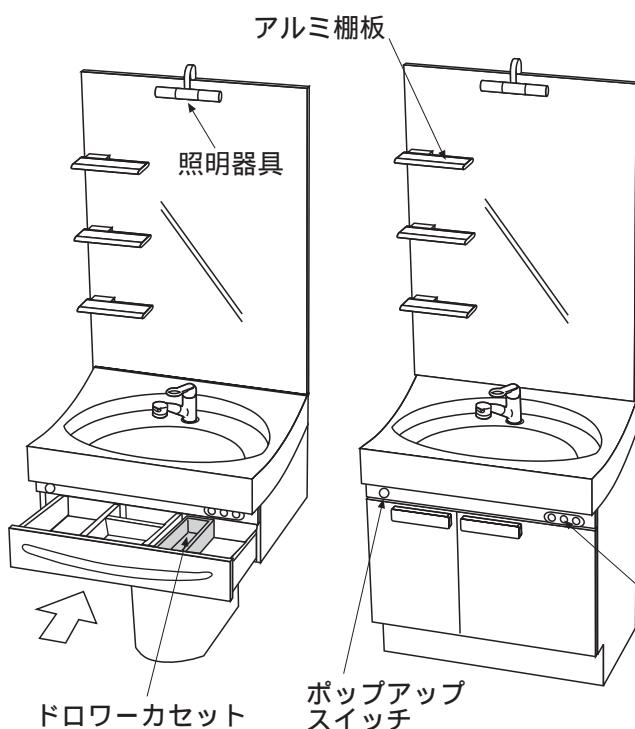


アルミ棚板の取付け



アルミ棚板をブラケットに取付けます。ブラケットに付属している六角穴止めネジを六角レンチで締めて固定してください。
それぞれの棚板が水平になるよう調整してください。

点検



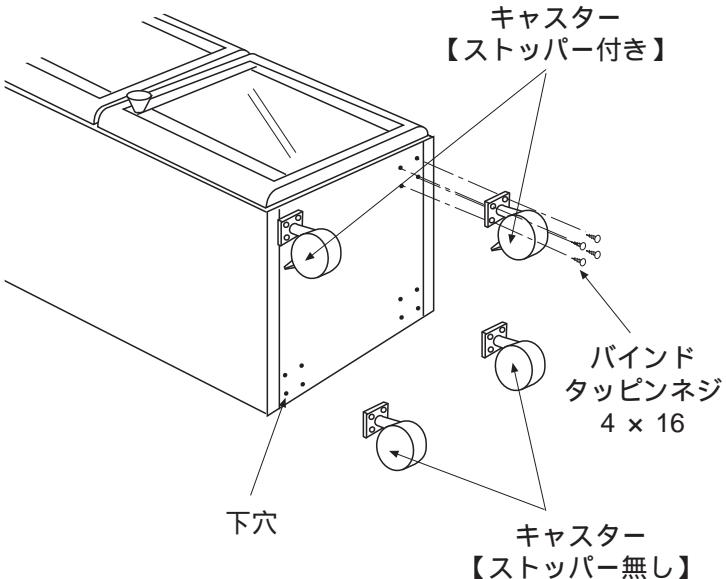
引出しを本体内に納めてください。この時配線
・配管が引出しに干渉していないかどうかの確認をしてください。
(ハーフペディスタイルタイプ)

取付け後の確認として下記の事項を検査してください。

- ・照明器具が正しく点灯するか。
- ・曇り止めヒーターが作動するか。
- ・水栓から表示通りに湯・水が吐水されるかどうか。水漏れは無いか。
- ・ポップアップは正常に作動するか。
- ・引出し内にドロワーカセットが装備されているか。(ハーフペディスタイルタイプ)

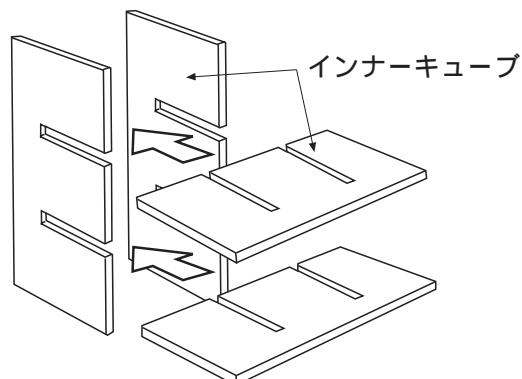
スイッチ（照明・曇り止めヒーター）

アセットモビルの組立て

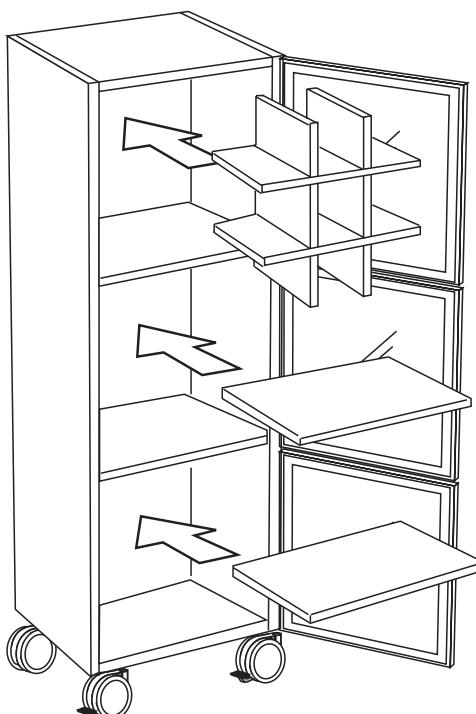


本体底板に開いている下穴に合わせ、キャスターを取付けます。
指定のネジを使用して固定してください。

本体前面【扉側】にはストッパー付きのキャスターを、本体後面【背板側】にはストッパー無しのキャスターを取付けてください。

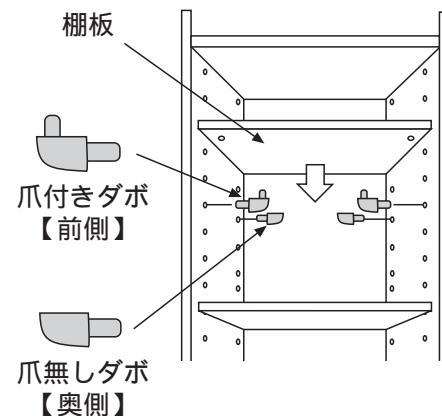


インナーキューブを組立てください。



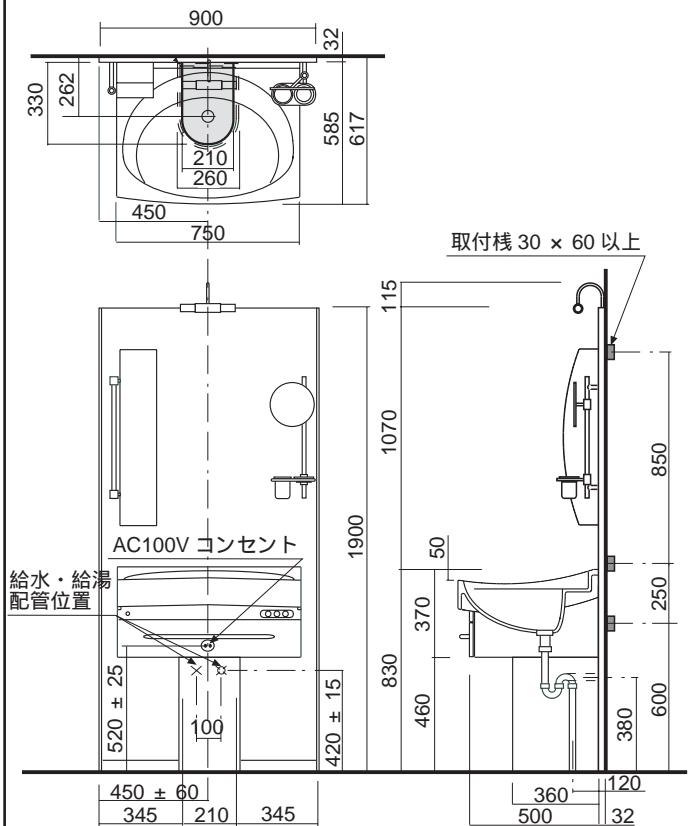
任意の位置にインナーキューブと棚板を取付けます。

棚板は付属のダボを使用して取付けてください。

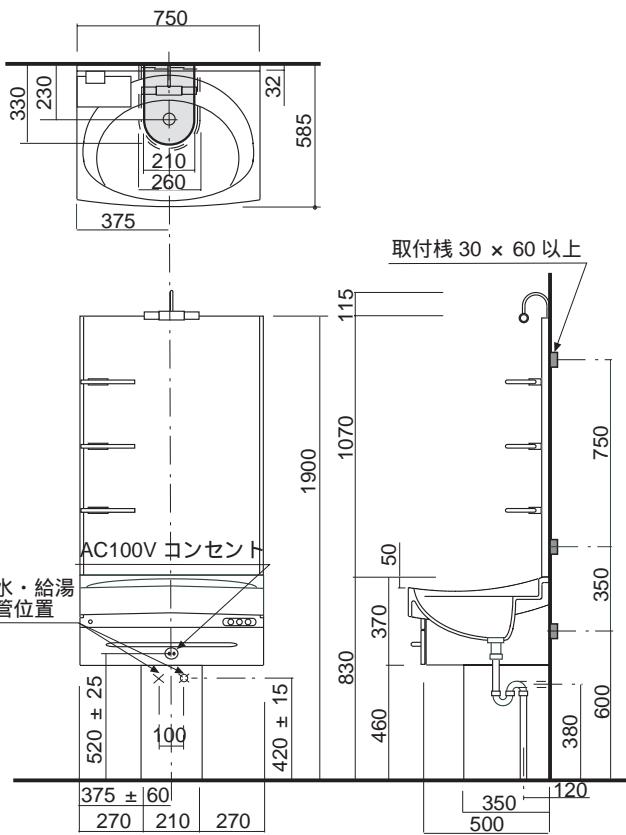


製品図

フルペディスタイル 90 タイプ



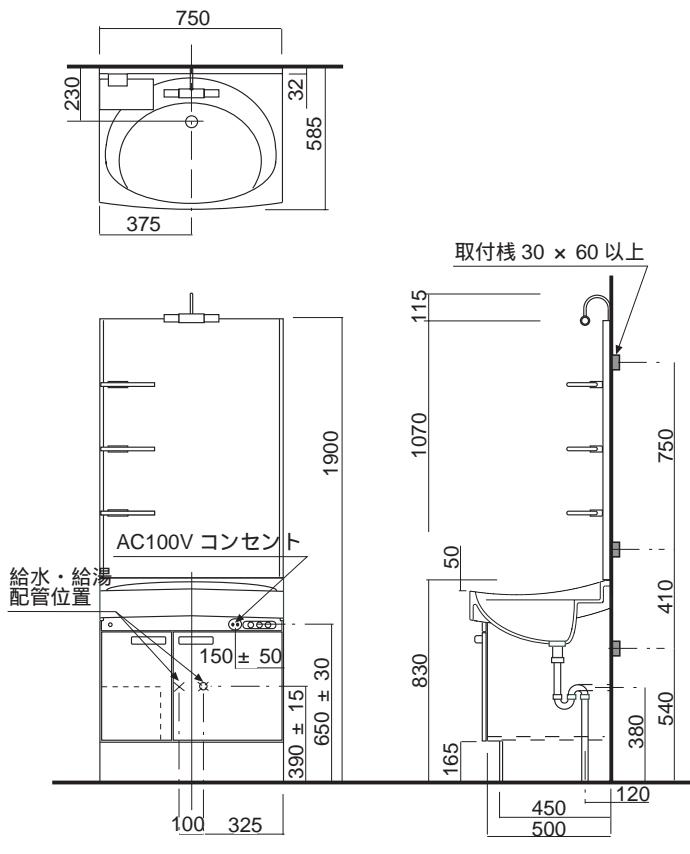
ハーフペディスタイル 75 タイプ



ボール容量 16.5 L【オーバーフローまで】

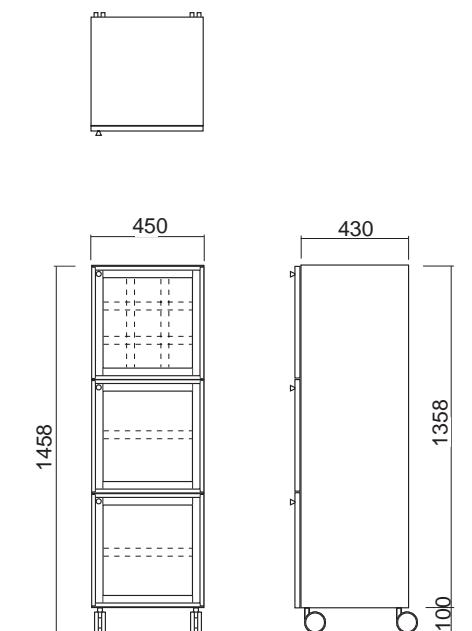
ボール容量 16.5 L【オーバーフローまで】

ボックス 75 タイプ



ボール容量 16.5 L【オーバーフローまで】

アセットモビル



据付け後の点検・清掃

- 1 「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- 2 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。

据付工事について

商品名	人大洗髪洗面化粧台【aere】 フルペディスタイル 90 (ベンゲラミナート) ハーフペディスタイル 75 (ベンゲラミナート、マットグリーン、マットオレンジ)
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	内装仕上げ部分 F P B F 化粧 P B F 接着剤 F 下地部分 F 化粧 P B F 接着剤 F

商品名	人大洗髪洗面化粧台【aere】 フルペディスタイル 90 (マットグリーン、マットオレンジ)
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分 F 下地部分 F
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	内装仕上げ部分 F 化粧 MDF F 化粧 P B F 化粧合板 F 接着剤 F 下地部分 F 化粧 P B F 接着剤 F

商 品 名	人大洗髪洗面化粧台【aere】 フルペディスタイル 90 (ディープブラウン)
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分 F 下地部分 F
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	内装仕上げ部分 F 化粧MDF F 化粧PB F 化粧合板 F 接着剤 F 下地部分 F 化粧PB F 接着剤 F

商 品 名	人大洗髪洗面化粧台【aere】 ハーフペディスタイル 75 (ディープブラウン)
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分 F 下地部分 F
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	内装仕上げ部分 F 化粧MDF F 化粧PB F 接着剤 F 下地部分 F 化粧PB F 接着剤 F

商 品 名	人大洗髪洗面化粧台【aere】 ボックス75(ベンゲラミナー、マットグリーン、 マットオレンジ)
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	内装仕上げ部分 F P B F 化粧 P B F 接着剤 F 下地部分 F 化粧 P B F MDF F 接着剤 F

商 品 名	人大洗髪洗面化粧台【aere】 ボックス75(ディープブラウン)
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分 F 下地部分 F
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	内装仕上げ部分 F 化粧MDF F 化粧P B F 接着剤 F 下地部分 F 化粧P B F MDF F 接着剤 F

MEMO

MEMO

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。



TOYO KITCHEN®
<http://www.toyokitchen.co.jp>

トヨーキッチン&リビング株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山 6 - 4 - 10

ユーザーサポートセンター 東京・南青山

お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyo1.toyokitchen.co.jp

東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040

福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

P9WP-TRS88
04.5